

NVivo 14 – Windows クイックスタートガイド



Partner 2022-2023

ユサコ株式会社はNVivo 開発元
Lumivero の認定パートナーです

目 次

•	NVivo 14 で何ができる？	・・・ P. 2
•	Step 1 myLumivero アカウントの作成	・・・ P. 3
•	(参考) NVivo 14 トライアル版の申請	・・・ P. 4
•	Step 2 NVivo 14 をインストール	・・・ P. 5
•	(参考) アクティベーションの解除	・・・ P. 6
•	Step 3 プロジェクトの作成と保存	・・・ P. 7
•	(参考) 過去バージョンで作成したファイルを開く	・・・ P. 10
•	Step 4 データのインポート①	・・・ P. 11
•	Step 5 データを考察する①：コードの作成	・・・ P. 14
•	Step 6 データを考察する②：コーディング	・・・ P. 16
•	Step 7 データを考察する③：コーディングストライプの設定	・・・ P. 21
•	Step 8 データのインポート②：Excel シート編	・・・ P. 24
•	Step 9 データのインポート③：EndNote 編	・・・ P. 32
•	Step 10 データを分析する：頻出語クエリ編	・・・ P. 37
•	便利な資料集・お問い合わせ	・・・ P. 43

※本スタートガイドは NVivo 14 リリース直後の NVivo 14 の画面を掲載しています。
今後変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

NVivo 14 (エヌヴィボ) で何ができる？

Before

様々な情報を一元管理

- 文書・画像・音声・動画・スプレッドシートなどをまとめて管理できます。取り込んだファイルは全て NVivo 14 上で閲覧できるので、PC の画面や机の上が資料でいっぱいになってしまうことはありません。

質的なデータの考察を深める

- NVivo 14 はデータの一部を抜き出して整理することにも優れており、インタビューやアンケートの考察を深める、文献のレビューを行うなどユーザーの思考を補助することができます。抜き出した情報からすぐ元データを参照できるため、データの全体を見返すことができます。

NVivo 14 で情報の整理を効率化し、研究にあてる時間を増やしましょう！



NVivo 14

Step 1 myLumivero アカウントの作成



LUMIVERO 

Sign in with your email address

メールアドレス

Next

☐ サインインしたままにする

アカウントをお持ちではない場合は? **今すぐサインアップ**

または

 Google アカウントで続行

 Facebook アカウントで続行

 Microsoft アカウントで続行

NVivo 14 をご利用になるには開発元のポータルサイト

「myLumivero」のアカウントを作成する必要があります。

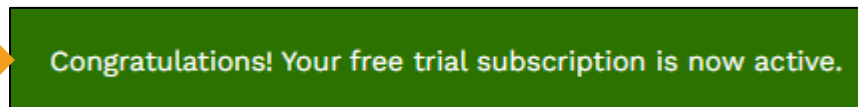
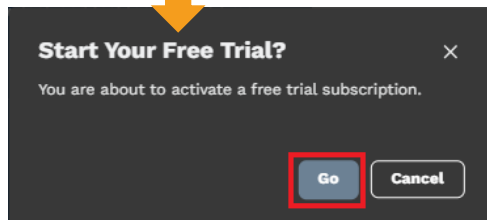
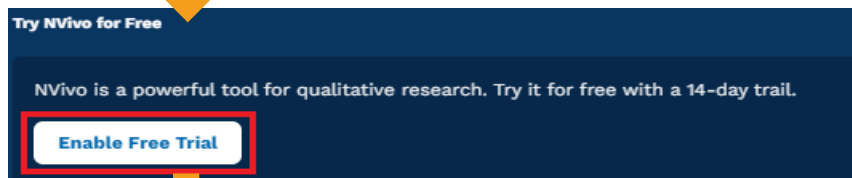
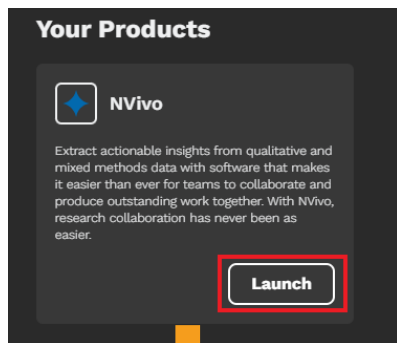
「myLumivero」のアカウントをお持ちでない場合は、[こちら](#)をご参照の上「myLumivero」のアカウントを作成してください。

※ こちらで設定したアカウントは今後 NVivo 14 をご利用になる上で継続してご利用いただくことになります。ご登録いただきましたアカウント情報は大切に保管してください。

(参考) NVivo 14 トライアル版の申請

NVivo 14 トライアル版を利用される方はインストールの前に下記手順にて申請を行って下さい。

※ **NVivo 14 ライセンスをご購入いただいた方はトライアルの申請は不要です。**



1. [myLumivero](https://mylumivero.com) へアクセスし、サインイン
2. 表示された画面 [NVivo] 欄 [Launch] をクリック
4. [Enable Free Trial] をクリック
5. [Go] をクリック
6. 「Congratulations! Your free trial subscription is now active.」と表示されたら申請完了

Step 2 NVivo 14 をインストール

下記の URL から、ご利用の OS のインストーラーをダウンロードしてください。

● NVivo 14 for Windows

<https://download.qsrinternational.com/Software/NVivo14/NVivo.x64.exe>

● NVivo 14 for Mac

<https://download.qsrinternational.com/Software/NVivo14forMac/NVivo.dmg>

インストールおよびアクティベートの方法は下記をご参照ください。

● NVivo 14 for Windows インストール方法及び注意事項

<https://rs.usaco.co.jp/product/nvivo/faq/218.html>

● NVivo 14 for Mac インストール方法及び注意事項

<https://rs.usaco.co.jp/product/nvivo/faq/221.html>

(参考) アクティベーションの解除

NVivo は、ライセンス利用規約上、同時にアクティベート可能な端末数が個人利用に限り 2 台までと限られています。そのためご利用の PC を交換する等の際には、あらかじめアクティベーションを解除していただく必要があります。

アクティベーションの解除手順は、[こちら](#)をご参照ください。

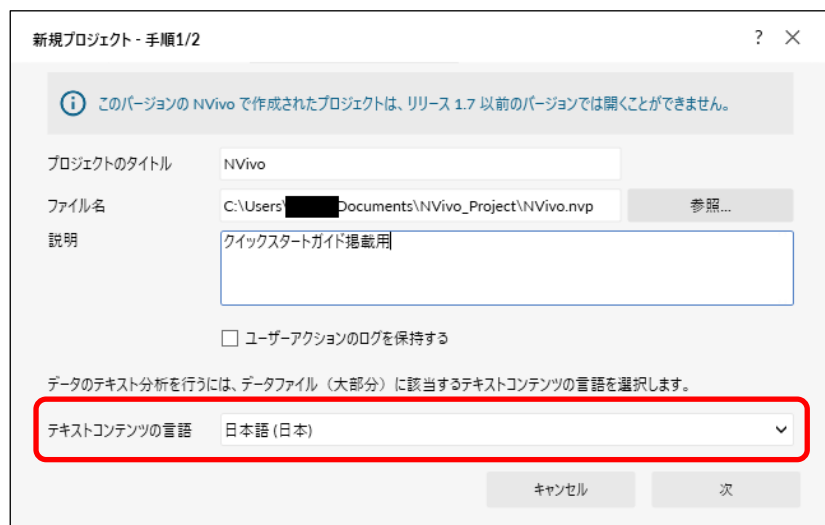
アクティベーションの解除は、**NVivo 14 をアンインストールする前に必ず行ってください。**

Step 3-1 プロジェクトの作成と保存



NVivo 14 に取り込んだ様々なファイルや行った分析結果は基本 1 つのファイルに保存されます。NVivo 14 ではそのファイルを「プロジェクト」と呼びます。

NVivo 14 を使い始めるために、まずはこのプロジェクトを作成しましょう。

A screenshot of the "New Project" dialog box in NVivo 14. The title bar says "新規プロジェクト - 手順1/2". Inside, there's an information icon and a message: "このバージョンの NVivo で作成されたプロジェクトは、リリース 1.7 以前のバージョンでは開くことができません。" (Projects created in this version of NVivo cannot be opened in versions prior to release 1.7). Below this, there are fields for "プロジェクトのタイトル" (Project Title) with "NVivo" entered, "ファイル名" (File Name) with "C:\Users\...Documents\NVivo_Project\NVivo.nvp" and a "参照..." (Browse...) button, and a "説明" (Description) field with "クイックスタートガイド搭載用" (For Quick Start Guide). There's a checkbox for "ユーザーアクションのログを保持する" (Keep user action logs) which is unchecked. Below that, a message says "データのテキスト分析を行うには、データファイル（大部分）に該当するテキストコンテンツの言語を選択します。" (To perform text analysis on data, select the language of the text content in the data file (mostly)). At the bottom, there's a dropdown menu for "テキストコンテンツの言語" (Language of text content) with "日本語 (日本)" (Japanese (Japan)) selected. This dropdown is highlighted with a red rectangle. At the very bottom are "キャンセル" (Cancel) and "次" (Next) buttons.

※ [ユーザーアクションのログを保持する] にチェックを入れておくと、操作のログを残しておくことができ、便利です。

1. NVivo 14 のスタート画面で[新規プロジェクト] をクリック

2. [プロジェクトのタイトル] 欄にプロジェクト名、
[説明] 欄にプロジェクトの説明 (任意) を入力

3. [参照] ボタンからファイルの保存場所を指定

※ オンラインストレージや外部記憶媒体、共有フォルダへの保存はお控えください。

4. [テキストのコンテンツの言語] のプルダウンにて、分析の際に使用する言語を選択 (作成後も設定変更可能)

5. [次] をクリックします。

Step 3-2 プロジェクトの作成と保存

新規プロジェクト - 手順2/2 ? X

プロジェクトの保存

プロジェクトを自動保存しますか？（「はい」の場合、[元に戻す]は無効） ☐ はい ☒ いいえ

保存のリマインダーを次の間隔で表示 15 分 ☒ はい ☐ いいえ

プロジェクトリカバリ

NVivoは、プロジェクトのリカバリファイルを短期バックアップとして自動的に作成します。保存することによって、ファイルの作成がトリガーされます。（バックアップも手動で保存することをお勧めします）

リカバリファイルを作成 30分おき ▼

最新データを保存 1 リカバリファイル ▼

リカバリファイルの場所 C:\Users\ko-tanaka\Documents\NVivo Recove 参照...

戻る プロジェクトを作成

次の画面で保存に関する設定を行うことができます。

[プロジェクトを自動保存しますか？]：「はい」に設定すると操作ごとに自動保存されます。ただし、NVivo 14は保存すると「元に戻す」コマンドが使用できなくなる仕様となっていますので、一切の操作を元に戻せなくなる点にご注意ください。

[保存のリマインダーを次の間隔で表示]：設定した時間ごとに保存のリマインダーを出現させます。リマインダー画面で [はい] を選択すると保存されます。

[いいえ] を選択すると保存せずに作業を継続できます。

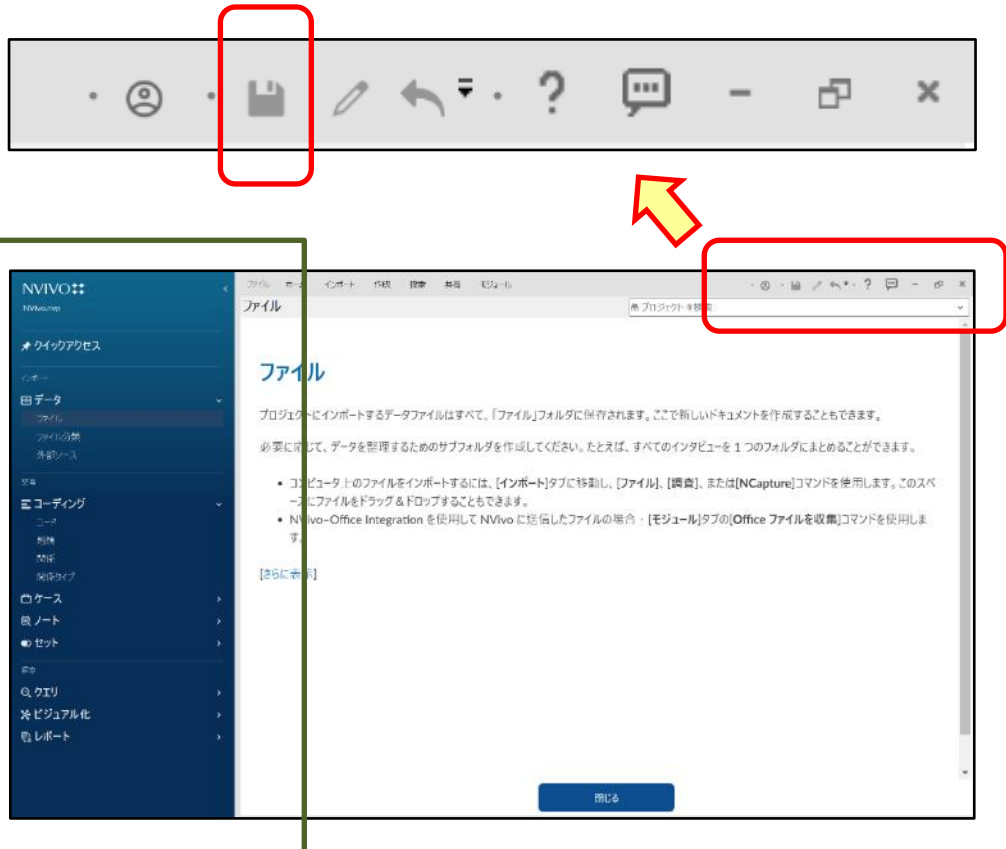
[プロジェクトリカバリ]：自動的にリカバリーファイルを作成する設定を編集できます。特にこだわりがない場合は初期設定のままで問題ありません。

[プロジェクトを作成] をクリックするとプロジェクトが作成されます。

Step 3-3 プロジェクトの作成と保存


空のプロジェクトが作成されます。

これからこのプロジェクトに様々なデータを取り込み、分析を行いましょう。



※ NVivo 14 は新規プロジェクト作成時に、メニューやナビゲーションビューの項目の解説を行う「ツアー」が表示されます。よろしければ一通りご参照ください。

※ 「ツアー」は [ファイル] メニューの [ヘルプ] → [ヘルプリソース] → [ツアー] から再表示可能。

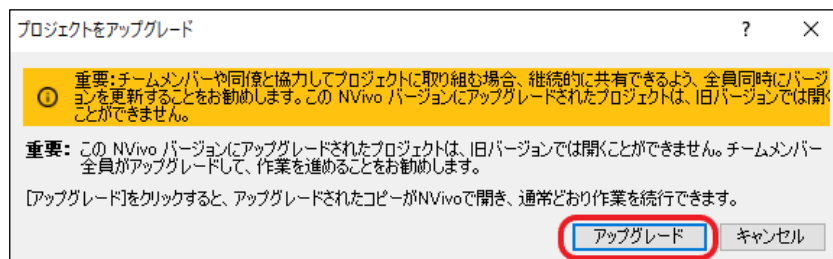
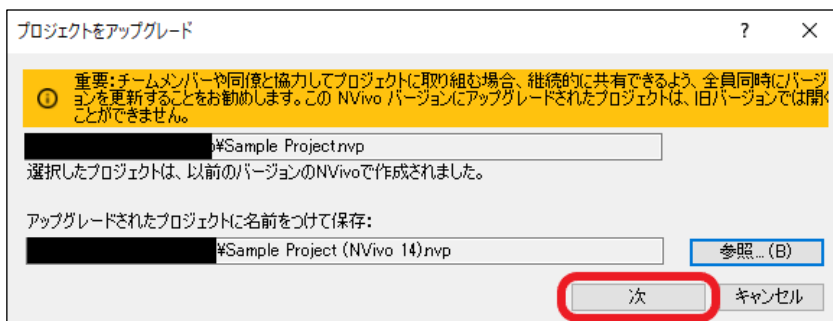
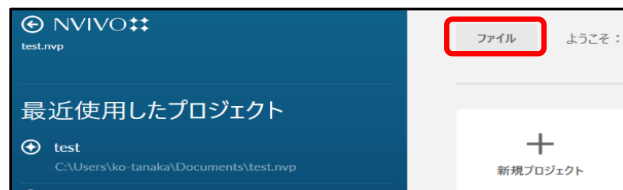
データの取り込みやコーディング、メモの編集などを行った後は、画面右上にある [保存] ボタン  をクリックすると作業内容を保存できます。

※ こまめに保存することをおすすめします。

※ ショートカットキー（Ctrl キー + S）で保存することも可能です。

ナビゲーションビュー

(参考) 過去バージョンで作成したファイルを開く



過去バージョンの NVivo で作成したプロジェクトのファイルは、変換を行うことで、続きから編集することができます。

NVivo 14 を起動後、プロジェクトを開いていない状態で[ファイル] をクリックし、[開く] の項目から [参照] を選択。

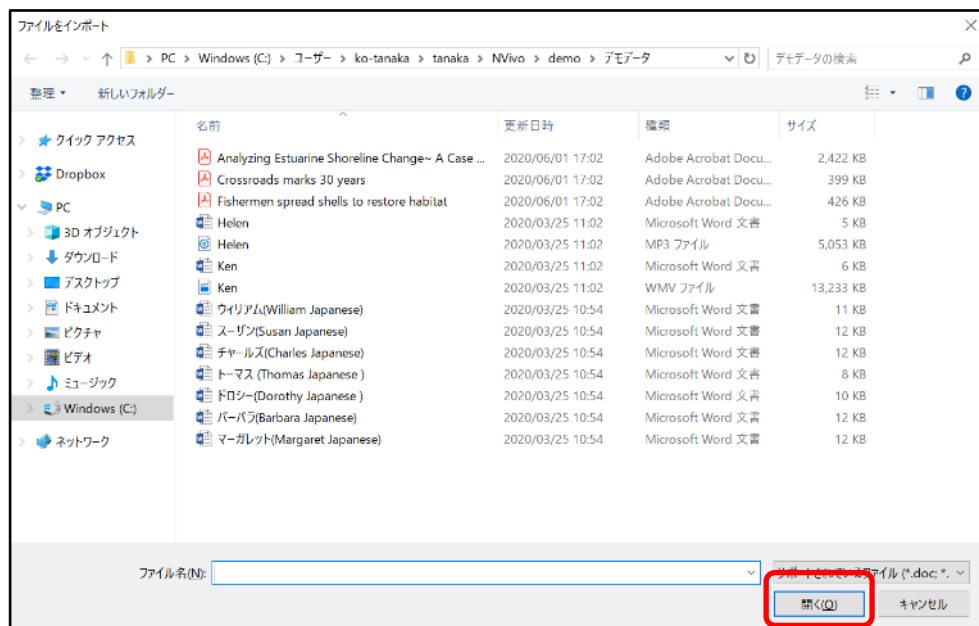
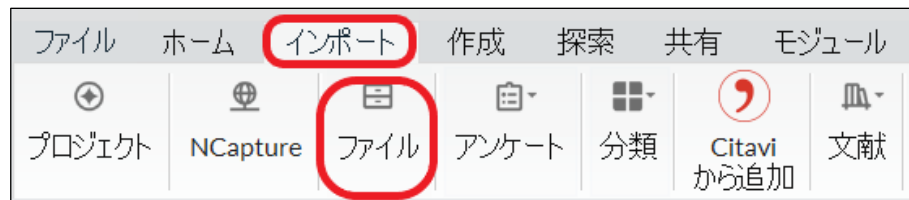
変換したいプロジェクトファイルを選択すると、[プロジェクト変換] の画面が表示されます。

変換後のファイル名と保存場所を指定する場合は、[参照] ボタンをクリックします。

[次] をクリックし次の画面で [アップグレード] をクリックすると、変換後のファイルが開きます。

ファイル名と保存場所を指定しなかった場合、変換後のファイルは「元のファイル名」(NVivo 14).nvp」の名前で元ファイルと同じフォルダに保存されます。

Step 4-1 データのインポート①



NVivo 14 に取り込むデータのうち、Excel や他の統計分析ソフト、文献管理ソフト以外の主なデータは「ファイル」から取り込みます。

ここでは Microsoft Word で作成されたファイルを取り込み、NVivo 14 のソースデータとして扱えるようにしてみます。

[インポート] メニューをクリックし、[ファイル] をクリックします。

ファイル選択ウィンドウが出現するので、取り込みたいファイルを選択して [開く] をクリックします。

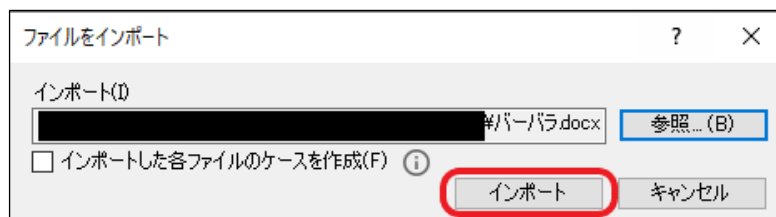
※ 複数のファイルを一度に取り込むことも可能です。

Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを一度に選択できます。

※ [ファイル] から取り込み可能なファイル形式：文書ファイル、PDF、音声ファイル、画像ファイル、動画ファイル、など。

詳細はファイル選択ウィンドウ右下の [サポートされているファイル...] のプルダウンメニューを開いてご確認ください。

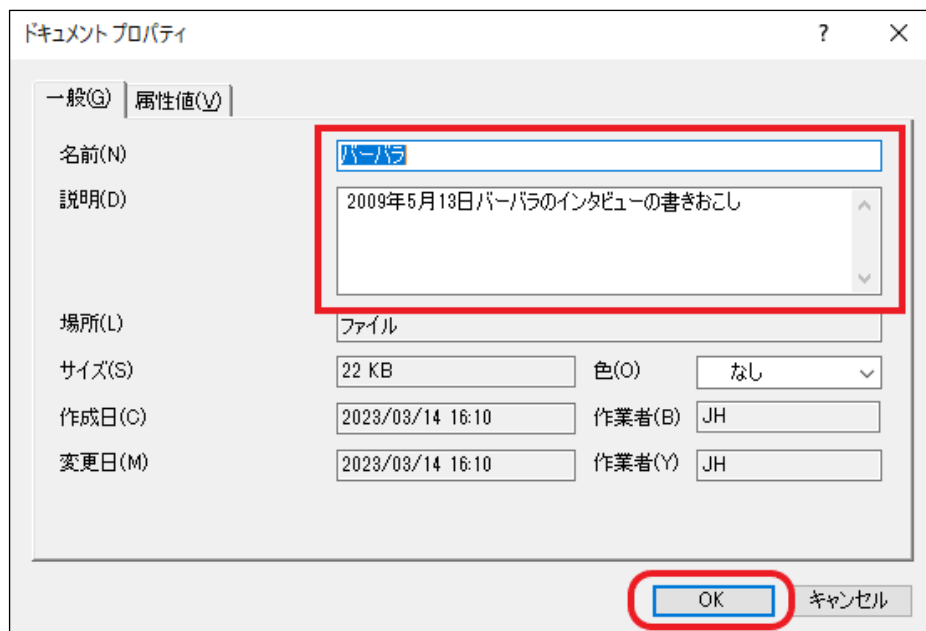
Step 4-2 データのインポート①



インポートするデータを確認するウィンドウが出現するので、[インポート] をクリックします。

取り込むデータのプロパティ画面が出現します。

[名前] 欄に NVivo 14 内での表示名
[説明] 欄にデータの説明(任意)を入力し、
[OK] をクリックします。



※ 複数のデータをまとめてインポートした場合はプロパティ画面は出現しません。NVivo 14 内に取り込まれたデータを右クリックし、[ドキュメントプロパティ] を選択することで個別にプロパティ画面を表示させることができます。

Step 4-3 データのインポート①



ファイルがソースデータとして取り込まれ、「ファイル」の中に保存されました。データをダブルクリックすると NVivo 14 内で閲覧・編集することも可能です。

編集を行う際は [編集] のチェックボックスにチェックを入れる必要があります。

※ 初期設定では、NVivo 14 に取り込んだファイルはプロジェクトファイル内にコピーが埋め込まれるため、NVivo 14 に取り込んだデータを編集しても取り込む前の原本ファイルには変更が反映されません。

Step 5-1 データを考察する①：コードの作成

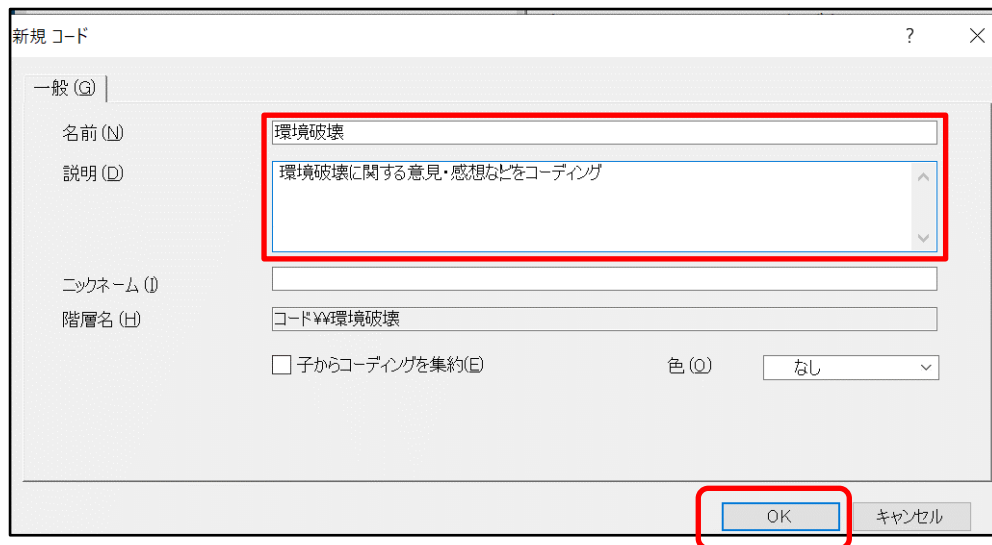


NVivo 14 は、取り込まれた様々なデータから重要な部分を自分自身の視点でまとめ、分かりやすく整理することができます。

各データ内で、自身が設定したトピックに関連する部分（文章や画像の一部分など）を格納しておく資料ケースのようなものを「コード」と呼びます。

取り込んだデータから必要な情報を格納するため、コードを作成しましょう。

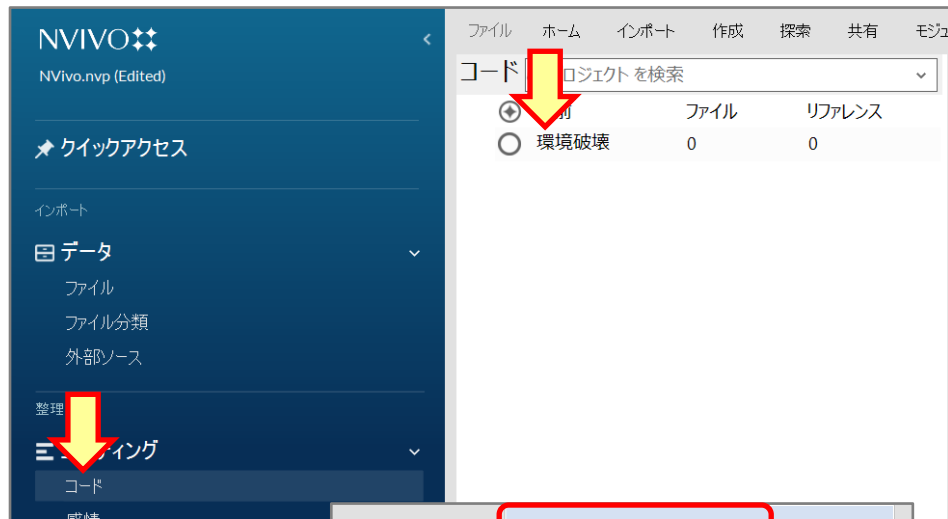
[作成] メニューをクリックし、[コード] をクリックします。



※ NVivo 12 以前のバージョンでは「コード」のことを「ノード」と呼んでいました。呼称が変更されていますのでご注意ください。

[名前] 欄にコード名、[説明] 欄にはコードの説明（任意）を入力し、[OK] をクリックします。

Step 5-2 データを考察する①：コードの作成



コードが作成されます。

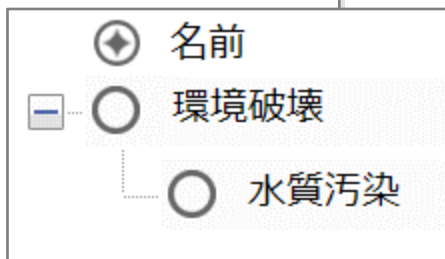
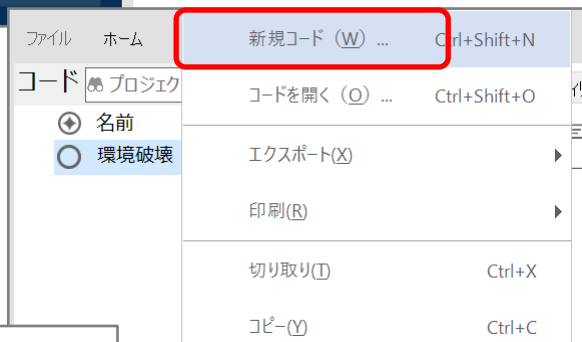
ナビゲーションビューの [コード] をクリックすると作成したコードが表示されます。

また、コードを階層化することも可能です。

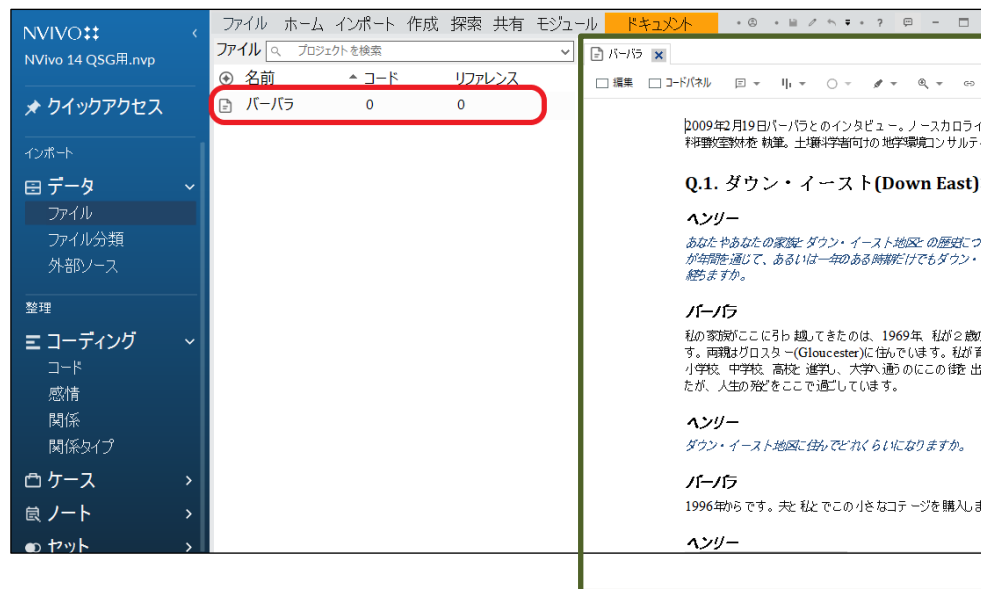
作成したコードの上で右クリックし、[新規コード] を選択して新しくコードを作成すると一つ下の階層に新しいコードが作成されます。

※ 作成したコードをドラッグ&ドロップで別のコードの上に落とす方法でも階層化できます。

※ 階層化の深さに制限はありませんが、PC のパフォーマンスに影響を及ぼす場合があるため、3～4階層までの運用を推奨します。



Step 6-1 データを考察する②：コーディング



詳細ビュー

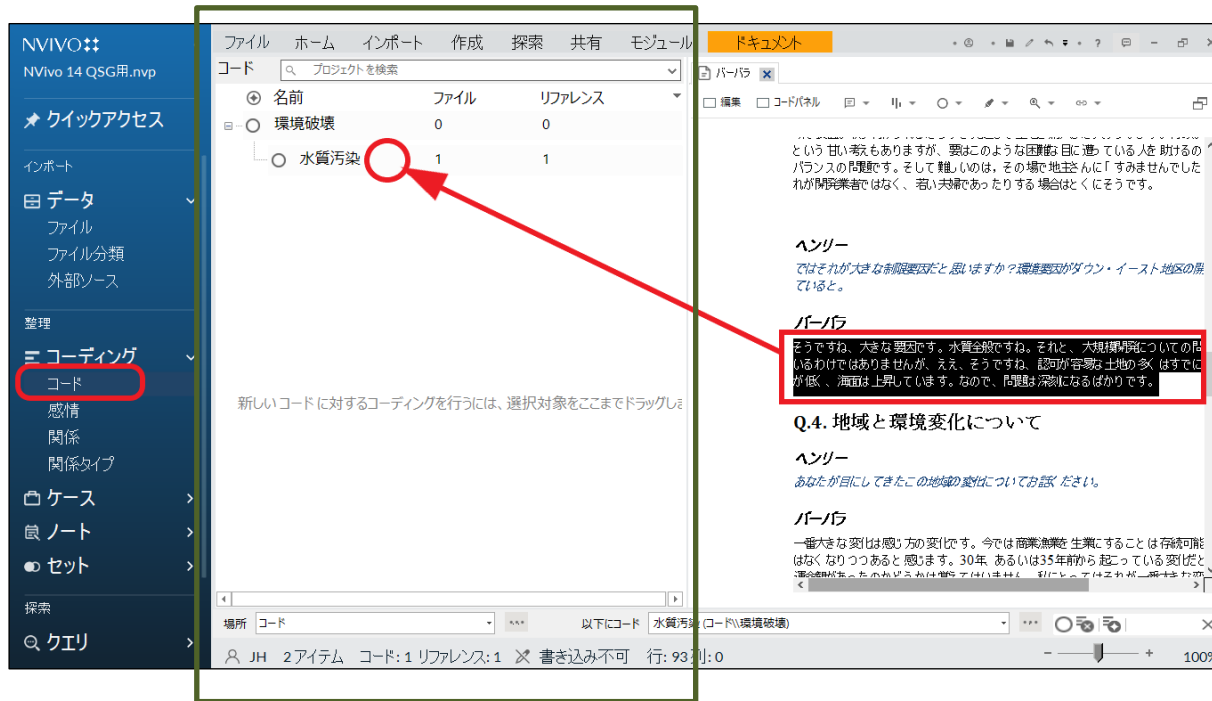
分析中の資料で重要な部分があった場合、紙で作業をしていたときはマーカーを引く・付箋を貼る・ハサミで切ってスクラップ（カード）にする…など様々な方法で整理していたと思いますが、NVivo 14 では簡単な操作で元データを損なわずに情報を整理することができます。

NVivo 14 に取り込んだソースデータから重要な情報を整理することを「**コーディング**」といいます。基本的にはソースデータからコードにコーディングを行います。

ここでは取り込んだドキュメントの一文をコーディングしてみましょう。

コーディングしたいドキュメントをソースデータの中からダブルクリックすると、詳細ビューが開きます。

Step 6-2 データを考察する②：コーディング



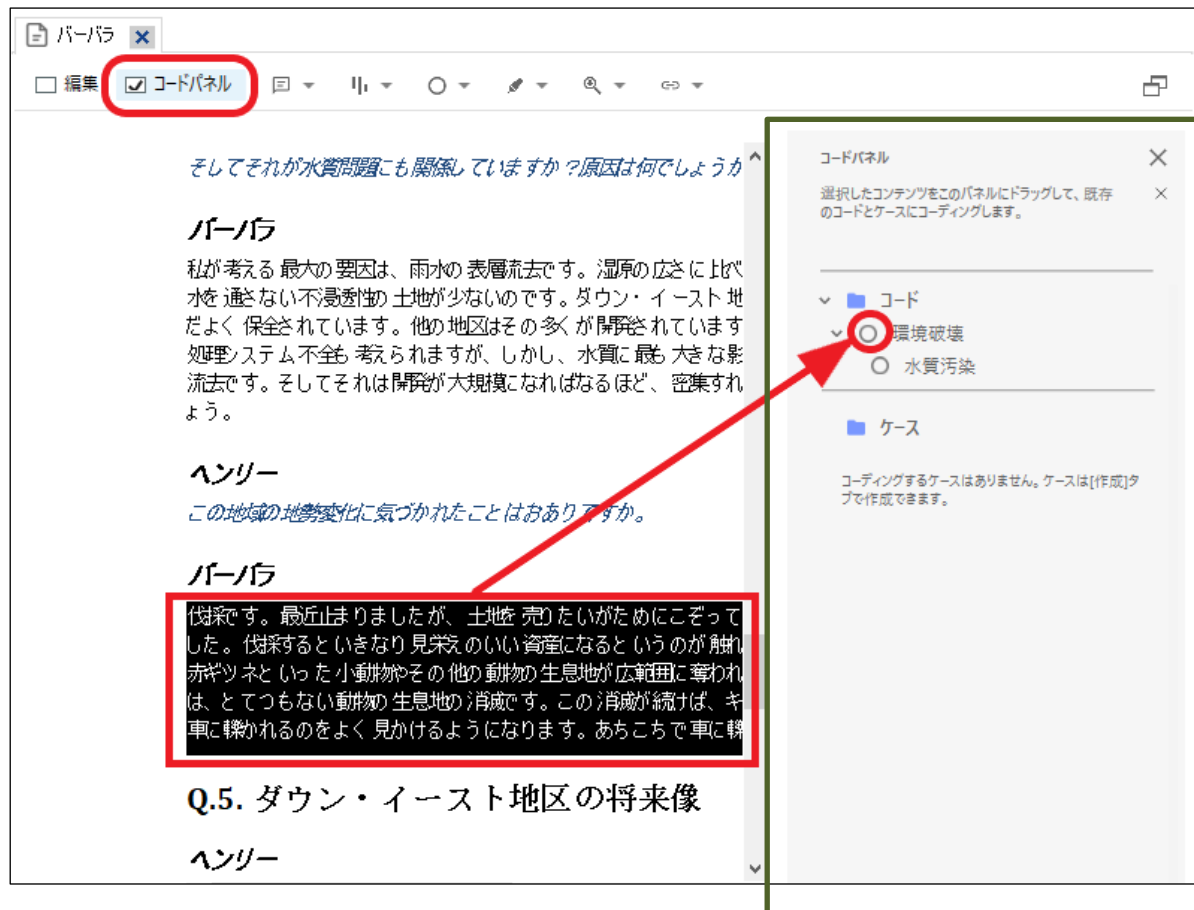
リストビュー


詳細ビュー内で重要な文章を見つけたら、マウスでクリック＆ドラッグして選択します。

画面左のナビゲーションビューで [コード] を選択すると作成したコード一覧がリストビューに表示されるので、選択した文章を格納したいコードにドラッグ & ドロップします。

※ リストビュー内の余白部分 “新しいコードに対するコーディングを行うには、選択対象をここまでドラッグします” 周辺に選択した文章をドラッグ＆ドロップすると、新規コードを作成しつつコーディングを実行することが可能です。

Step 6-3 データを考察する②：コーディング

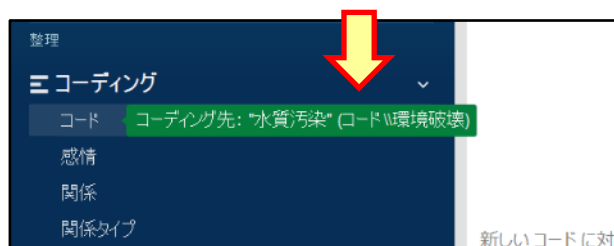


詳細ビュー上部の  から [コードパネル] を選択すると、詳細ビューの右側にコード一覧が表示されるので、選択した文章を格納したいコードにドラッグ&ドロップできます。リストビューを切り替える手間が省けるので便利です。

※ 詳細ビューにドキュメントファイル以外を表示している状態ではコードパネルを表示することはできません。予めご了承ください。

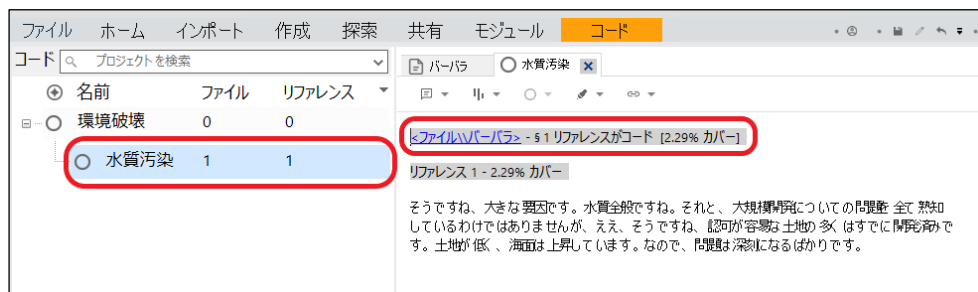
コードパネル

Step 6-4 データを考察する②：コーディング



コーディングが完了すると、ポップアップが表示されます。

リストビューにコードを表示させ、内容を表示したいコードをダブルクリックすると、詳細ビューに当該コードにコーディングされているデータが一覧表示されます。

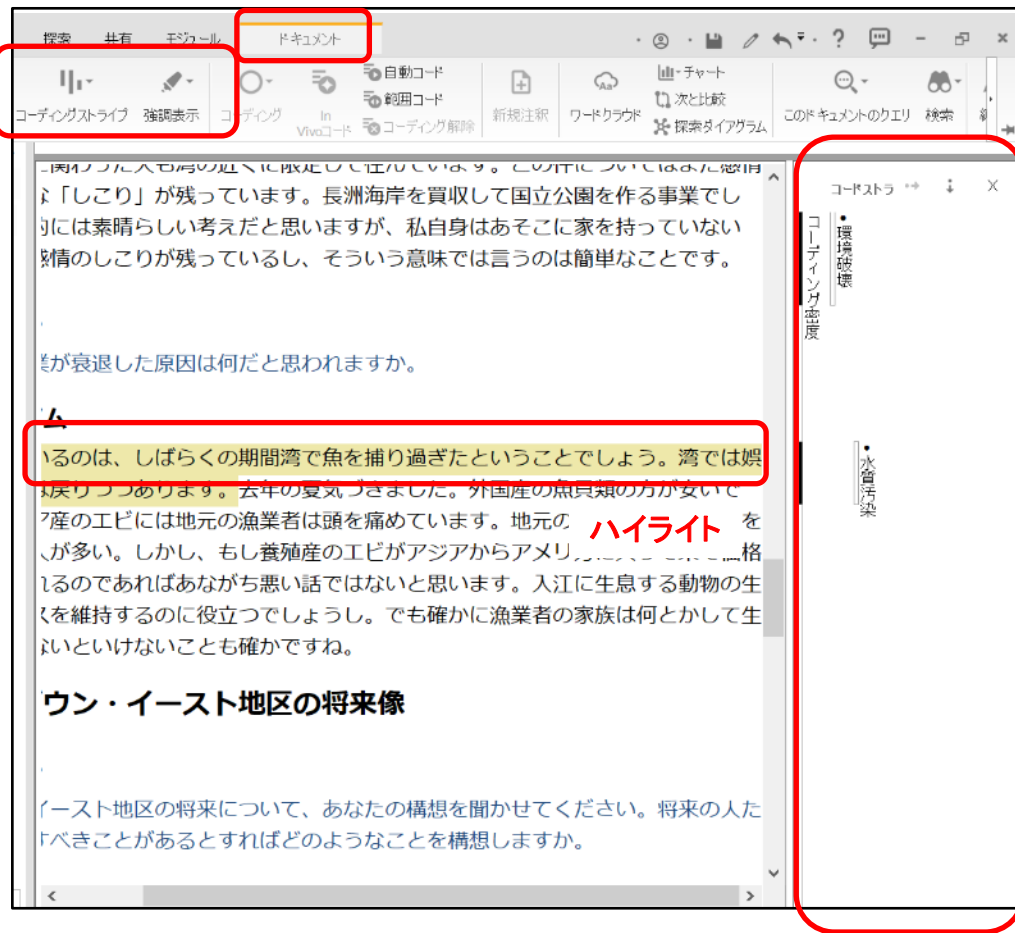


また、コーディングされている内容の上部に記載されている青いリンクをクリックするとコーディングを行ったソースデータを開くことができます。文章の前後や元データ全体を簡単に見返すことができます。

- ※ コードパネルからはコードを開くことはできません。
- ※ PDF やメモなどのコーディングも同様の操作で行うことが可能です。

特定のトピックや気付きに基づいてコードを作り、情報を集約していくことで自分だけのデータベースを作りましょう。

Step 6-5 データを考察する②：コーディング



コーディング
ストライプ

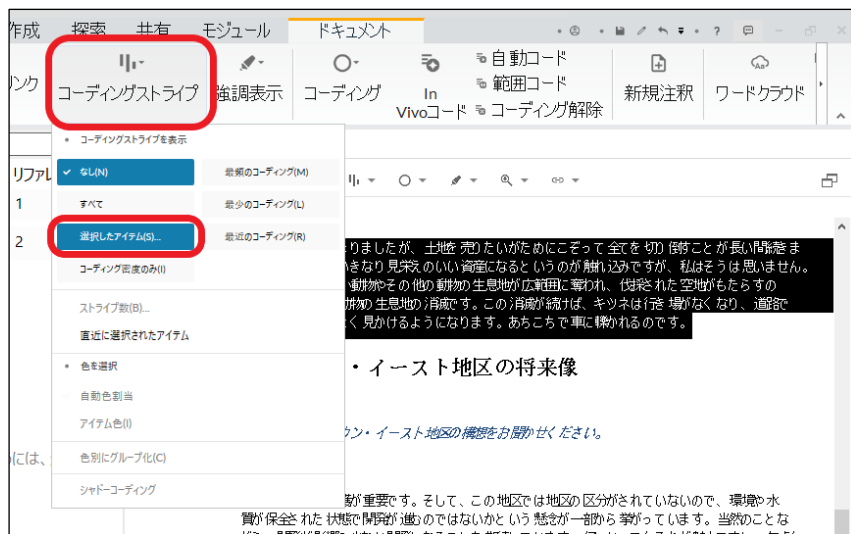
ソースデータを閲覧しているとき、既にコーディングしてある箇所にも色を付け、視覚的に分かりやすく表示することも可能です。

ソースデータをダブルクリックして詳細ビューを表示した後、[ドキュメント] メニューで設定します。

- コーディングストライプ：文中のどこが、どのコードにコーディングされているかを詳細ビューの右側に表示します。
- 強調表示：詳細ビュー内でコーディングされている箇所がハイライト表示されます。

※ ハイライトを設定しなくても、コーディングストライプ内でコーディング箇所を示すバーをクリックすると該当箇所がハイライトされます。

Step 7-1 データを考察する③：コーディングストライプの設定



コーディングストライプは、特定の要素へのコーディングのみを選択して表示することも可能です。

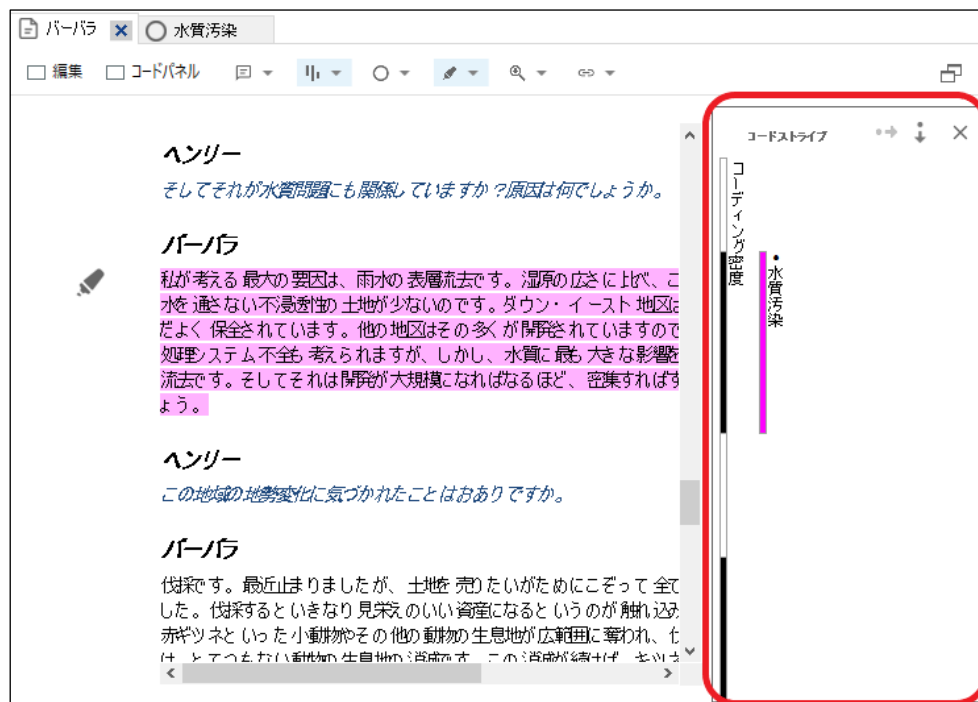
コードやソースデータを開くとメニューの右側に新しいメニュー（[ドキュメント] や [コード]）が表示されるので、それをクリック後 [コーディングストライプ] → [選択したアイテム] をクリックします。



表示する要素を選択する画面が出現します。コード・ケース・ケースの分類（属性情報）など、コーディングストライプで表示したい要素を選択し、[OK] をクリックします。

※ データを階層化している場合、要素を選択する画面にて下の階層が隠れた状態で表示されることがあります。上位階層左の [+] をクリックすると下の階層を表示できます。

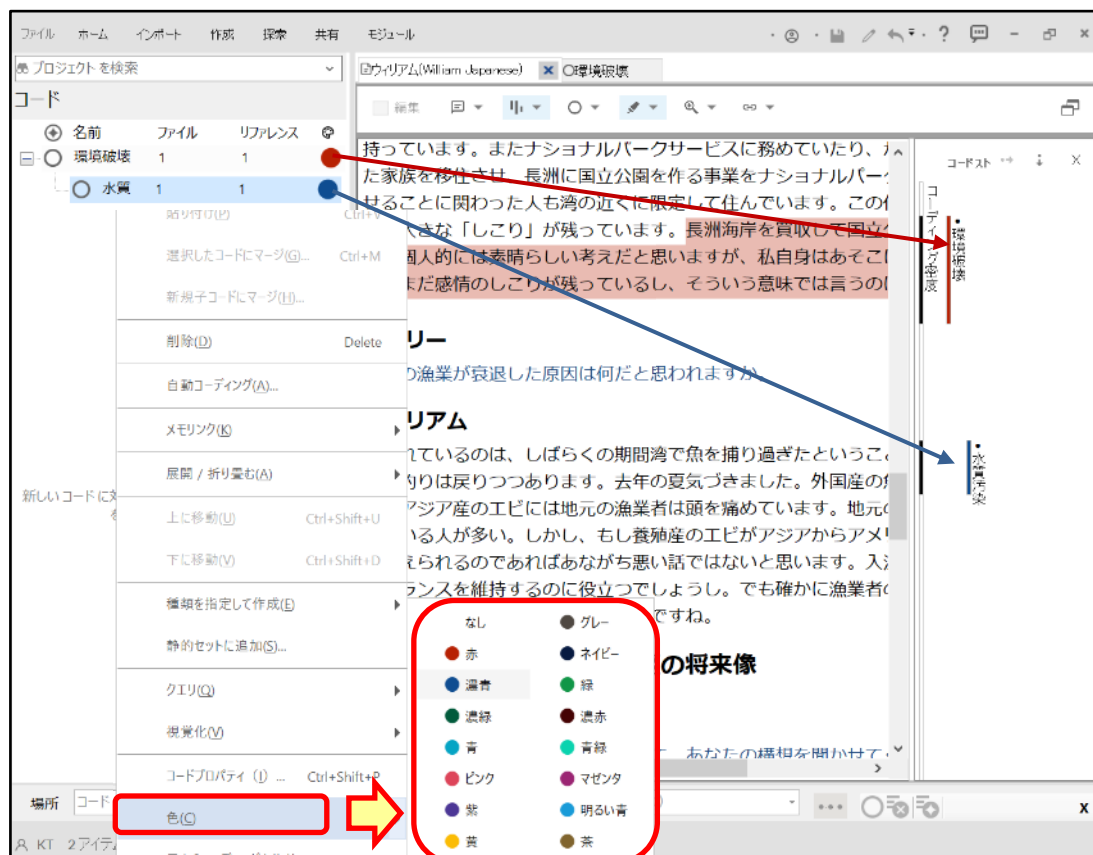
Step 7-2 データを考察する③：コーディングストライプの設定



指定した要素のみのコーディングストライプが表示されました。

別の要素を選択し直すときは、もう一度 [コーディングストライプ] → [選択したアイテム] をクリックします。

Step 7-3 データを考察する③：コーディングストライプの設定



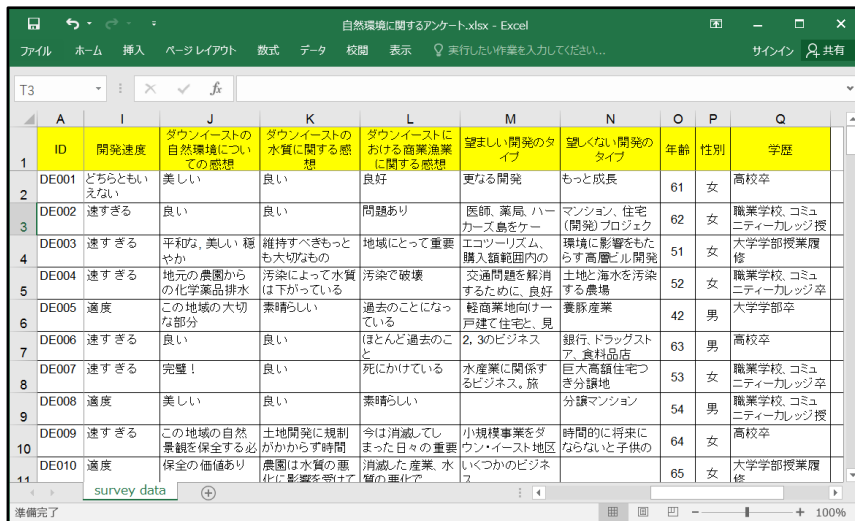
リストビューにコード一覧を表示させ、コードを右クリックして [色] の項目から色を選択できます。

選択した色はコードに設定され、コーディングストライプ上の表示も選択した色に変更されます。

コーディングストライプ上でコーディングされていることを示すバーをクリックすると、そのコードにコーディングされているすべての箇所がその色でハイライトされます。

※ 色は15種類です。同じ色を複数のコードに設定した場合は、コーディングストライプでも同じ色が使用されます。

Step 8-1 データのインポート② : Excel シート編



ID	開発速度	開発度	開発タイプ	望まない開発のタイプ	年齢	性別	学歴
DE001	どちらともいえない	美しい	良い	良好	61	女	高校卒
DE002	速すぎる	良い	問題あり	医師、薬局、ハーブ、農産物を売る	62	女	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE003	速すぎる	平和な、美しい、穏やか	維持すべきもの	地域にとって重要	51	女	大学学部授業履修
DE004	速すぎる	地元の農園からの化学薬品排水	汚染によって水質は下がっている	交通問題を解消するために、良好な交通手段を確保する	52	女	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE005	適度	この地域の大切な部分	素晴らしい	過去のことになっている	42	男	大学学部卒
DE006	速すぎる	良い	良い	2、3のビジネス	63	男	高校卒
DE007	速すぎる	完璧！	良い	死にかけている	53	女	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE008	適度	美しい	良い	素晴らしい	54	男	職業学校、コミュニティカレッジ校
DE009	速すぎる	この地域の自然景観を保全する必要がある	土地開発に規制がかからず時間がかかると感じる	小規模事業をダウングレード地区に開拓する	64	女	高校卒
DE010	適度	保全の価値あり	農園は水質の悪化に影響を与えていない	いくつものビジネス	65	女	大学学部授業履修

アンケート結果を Microsoft Excel などのスプレッドシートにまとめておけば、NVivo 14 に取り込み、内容を分析することが可能です。

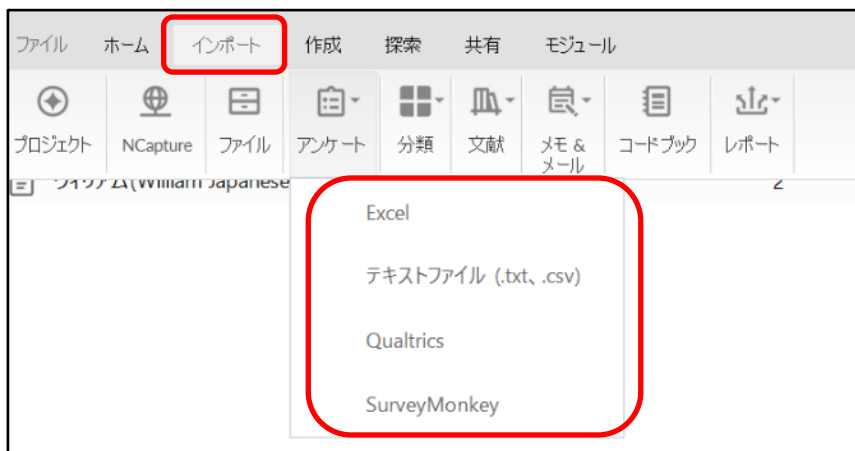
まずアンケートのデータを用意します。

※ 取り込み可能なファイル形式：

.xls、.xlsx、.txt（タブ区切りのもの）、.csv

※ 取り込み可能な外部サービス：

Qualtrics、SurveyMonkey



設問をあらかじめ 1 行目に入れておくことで後で自動認識させることができるので便利です。

準備ができたなら**必ずファイル**を閉じ、[インポート]メニューの [アンケート] → [Excel] または [テキストファイル] をクリックします。外部サービスの場合は該当の製品名をクリックします。

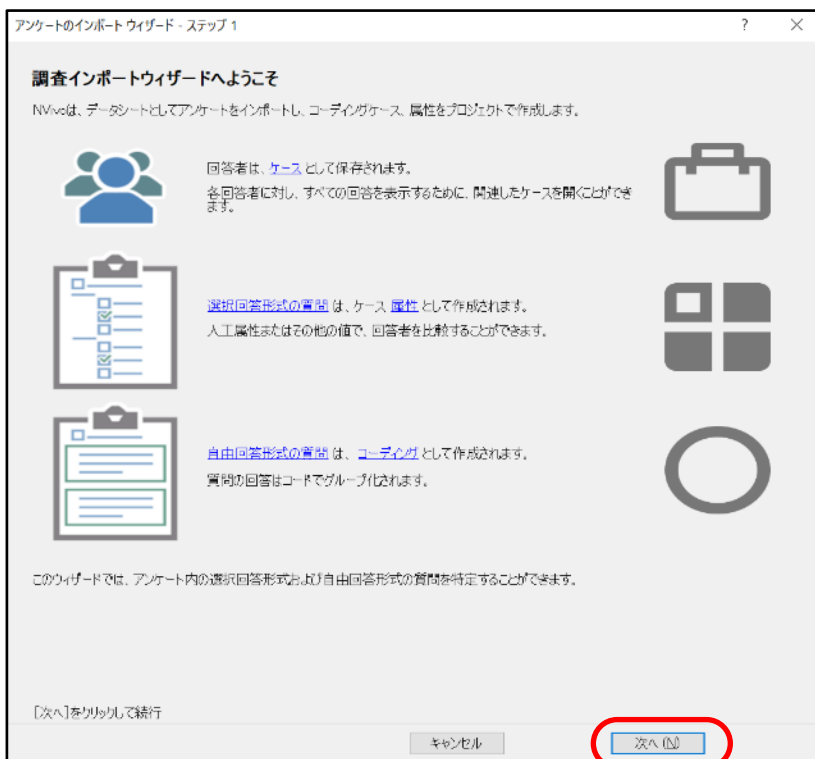
今回は [Excel] を選択します。

Step 8-2 データのインポート②：Excel シート編



データ選択画面が出現するので、取り込みたいファイルを選び [開く] をクリックします。

アンケートのインポートウィザードが表示されるので、[次へ] をクリックします。



Step 8-3 データのインポート②：Excel シート編

アンケートのインポートウィザード - ステップ 2

データの形式を確認してください

質問ヘッダで使用する行数はいくつですか？ ☐ 1 ☐ 年、月、日

日付の順番は何ですか？ ☐ 年、月、日 ☐ 月、日、年

行 ID	ID (2)	返信日	郡区名	地域名	タウンリストにおける世代	商業漁業
1	DE001	2004/12/14 0:00	ストレイツ	ストレイツ	なし	0
2	DE002	2004/12/17 0:00	ハーカースアイラン	ハーカースアイラン	3世代以上	0
3	DE003	2004/12/11 0:00	マーシャルバーク	マーシャルバーク	3世代以上	0
4	DE004	2004/12/16 0:00	スメリナ	ウイリントン	3世代以上	0
5	DE005	2004/12/04 0:00	ストレイツ	グロスター	1世代	0
6	DE006	2004/12/07 0:00	ストレイツ	ベティ	3世代以上	0
7	DE007	2004/12/09 0:00	マーシャルバーク	マーシャルバーク	3世代以上	1
8	DE008	2004/12/07 0:00	ストレイツ	オトウェイ	1世代	1
9	DE009	2004/12/15 0:00	マーシャルバーク	マーシャルバーク	3世代以上	0
10	DE010	2004/12/11 0:00	ステーシー	ステーシー	3世代以上	0
11	DE011	2004/12/03 0:00	ステーシー	ステーシー	3世代以上	0
12	DE012	2004/12/15 0:00	スメリナ	ウイリントン	2世代	0
13	DE013	2004/12/09 0:00	ストレイツ	ストレイツ	3世代以上	0
14	DE014	2004/12/18 0:00	ストレイツ	ベティ	1世代	1
15	DE015	2004/12/08 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	0
16	DE016	2004/12/07 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	0
17	DE017	2004/12/07 0:00	シダー・島	シダー・島	3世代以上	1
18	DE018	2006/12/08 0:00	ストレイツ	グロスター	3世代以上	1
19	DE019	2004/12/07 0:00	シー・レベル	シー・レベル	3世代以上	1
20	DE020	2004/12/11 0:00	ストレイツ	ストレイツ	なし	0
21	DE021	2004/12/09 0:00	シダー・島	シダー・島	3世代以上	0
22	DE022	2004/12/14 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	1
23	DE023	2004/12/14 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	1
24	DE024	2004/12/10 0:00	アトランティック	アトランティック	3世代以上	0
25	DE025	2004/12/07 0:00	ディビス	ディビス	3世代以上	0

「次へ」をクリックして続行

キャンセル 戻る (B) 次へ (N)

次の画面が表示されたら、Excel シートの内容が正しく取り込まれているか確認します。

また、次の設定を確認します。

- [質問ヘッダで使用する行数はいくつですか?]: 事前にシート内に設問を入力していた場合、それに使用した行数を入力します。(1、2)
設問を入力せず1行目から回答が始まっている場合は“0”を選択します。
- [日付の順番は何ですか?]: 回答の中に日付が入っている場合、記載されている順番を指定します。(年月日、日月年など)

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 8-4 データのインポート②：Excel シート編

アンケートのインポートウィザード - ステップ 3

アンケート回答者の管理

NVivo は、各回答者のケースを作成し、回答を収集します。

プロジェクトのどこにケースを保存しますか?

ケースを

各ケースに一意 ID を選択します

ケースはともに、分類でグループ化されます。

新規分類を作成 (C)

[次へ] をクリックして続行

- [プロジェクトのどこにデータを保存しますか?]: 固有名詞や個人に割り振られた ID のように変動しない情報を NVivo 14 では「**ケース**」と呼びます。アンケート回答者のケースを作成し、自由記述の回答を自動コーディングすることができます。[場所の変更] から作成場所を変更可能ですが、特別な理由がない場合デフォルトの保存先で問題ありません。
- [各ケースに一意IDを選択します]: アンケート回答者の名前・IDが入っている列を選択します。
- [新規分類を作成]: 自由記述ではない部分（選択式回答や年齢、性別など）を「分類」として作成することができます。任意に変更していただいて構いません。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 8-5 データのインポート②：Excel シート編

アンケートのインポートウィザード - ステップ 4

自由回答形式および選択回答形式の質問を特定します。

選択回答形式の質問は、属性の作成に使用され、自由回答形式の質問は属性の作成に使用されます。
インポートしたい選択回答形式の質問および自由回答形式の質問を選択します。

< 回答者 1 / 104 >

質問 (編集可能)	プレビュー	選択回答形式	自由回答形式	インポートしない
行 ID	1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ID (2)	DE001	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
返信日	2004/12/14 0:00:00	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
郡区名	ストレイツ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域名	ストレイツ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ダウンイーストにおける世代	なし	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
商業漁業	0	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
趣味としての釣り	0	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源とつながりのある収入の有無	以前からなし	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
開発速度	どちらともいえない	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウンイーストの自然環境についての感想	美しい	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウンイーストの水質に関する感想	良い	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウンイーストにおける商業漁業に関する感想	良好	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
望ましい開発のタイプ	更なる開発	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
望しくない開発のタイプ	もっと成長	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
年齢	61	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性別	女	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学歴	高校卒	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[次へ]をクリックして続行

キャンセル 戻る (B) **次へ (N)**

取り込んだ Excel シートの内容を、[選択回答形式]、[自由回答形式]、[インポートしない] に振り分けます。設問ごとに指定する必要があります。

※ [インポートしない] を選ぶと、その行は NVivo 14 に取り込まれません。

※ 上記いずれの選択も、インポート完了後に設定を変更することはできません。ご注意ください。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

Step 8-6 データのインポート②：Excel シート編



NVivo 14は一つ前の画面で [Open Ended (自由回答形式)] に設定した欄の回答に記載されている内容から「テーマ」と「感情」を分析し、自動コードを作成することが可能です。

- [テーマを自動コーディング]
- [感情を自動コーディング]

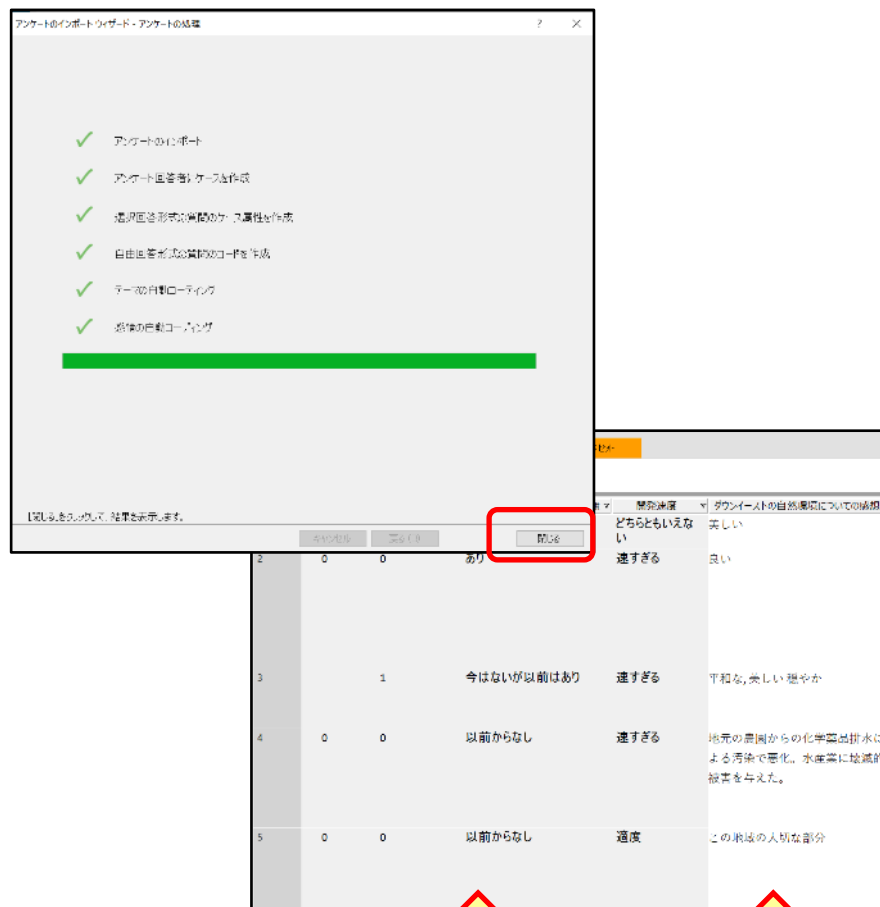
実行したい自動コードにチェックを入れます。

自動コードを作成する際は、[テキストコンテンツの言語] に設定されている言語がアンケートデータ内で使用されている言語と合致している必要があります。

[テキストコンテンツの言語] はこちらの画面からは変更できません。一度 [キャンセル] で画面を閉じ、[ファイル] メニュー → [プロジェクトプロパティ] を選択し、出現した画面の [一般] タブ内の [テキストコンテンツの言語] を変更してください。

設定が完了したら [終了] をクリックします。

Step 8-7 データのインポート② : Excel シート編



灰色背景は
選択回答形式の列

白色背景は
自由回答形式の列

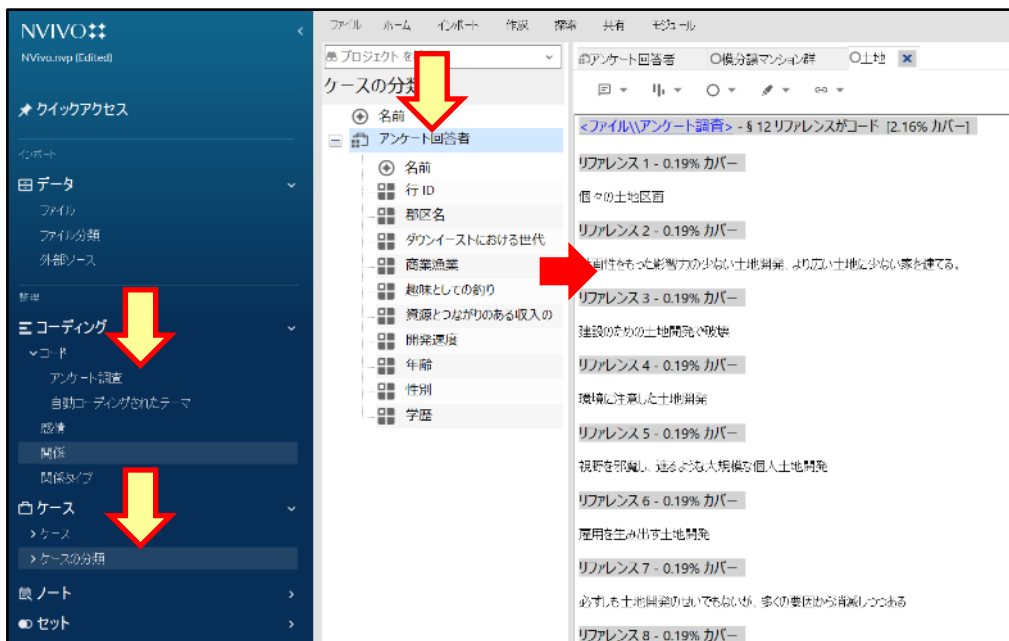
NVivo 14 がアンケートを読み込み、処理が完了したら [閉じる] をクリックすると [ファイル] 内にアンケートデータが取り込まれ、自動的に開かれます。

[選択回答形式] を選んだ列は背景が灰色で表示され、文字選択することができません。

[自由回答形式] を選んだ列は背景が白く表示され、他のソースデータと同じようにコーディングを行うことが可能です。

※ ただし、内容の編集を行うことはできません。内容を変更する場合は大元の Excel ファイルで修正したあと、再度 NVivo 14 に取り込み直す必要があります。（その場合コーディングなど、それまで行った操作は引き継がれません。ご注意ください）

Step 8-8 データのインポート②：Excel シート編



アンケート取り込みの途中で設定したケースと分類は、[ケース] と [ケースの分類] に保存されています。

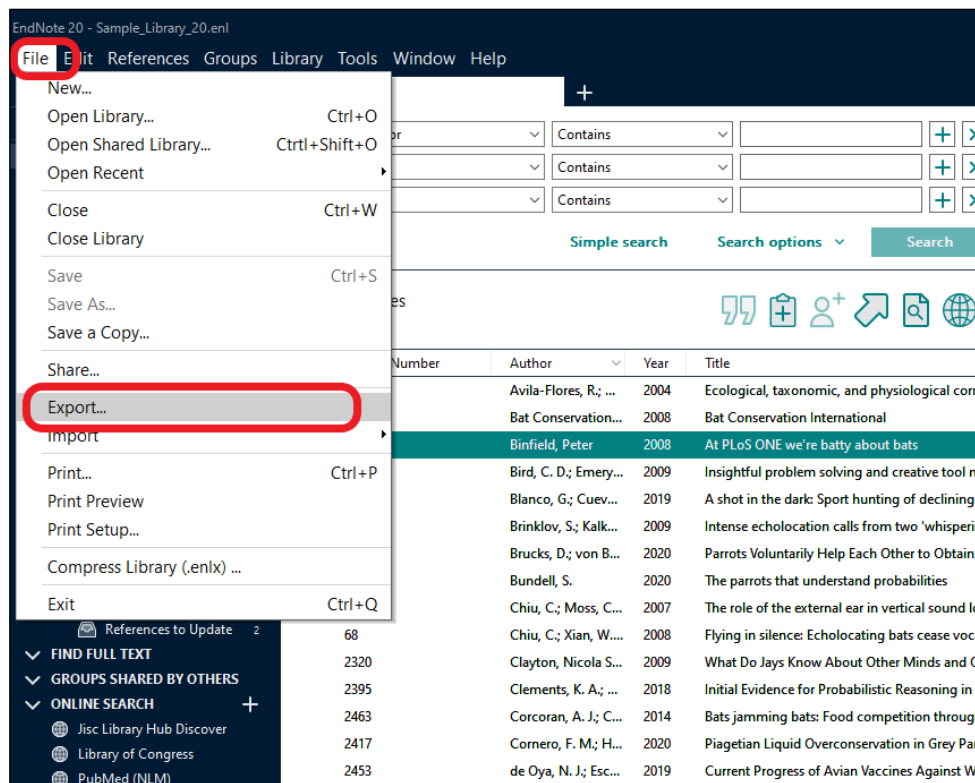
[ケースの分類] のサブフォルダに保存されたデータから、各回答者が選択回答形式の設問に回答した内容、自由回答形式の設問に回答した内容をまとめて確認できます。

[自由回答形式] に設定した内容や「テーマ」「感情」で自動コードを作成した場合、それぞれがナビゲーションビューの [コード] のサブフォルダ内に保存されています。

※ ナビゲーションビューにサブフォルダが表示されていない場合は、親フォルダ横に表示されている " > " 記号をクリックしてください。

このようにアンケート回答者や回答者の属性も取り込んでおくことで、後に分析を行う際に活用できるようになります。

Step 9-1 データのインポート③ : EndNote 編



※こちらは EndNote 20 の画面です。

文献管理・論文作成支援ソフトウェア

『EndNote』を使用している場合、保存している文献情報と関連付けられているフルテキストPDFなどを NVivo 14 に取り込むことができます。

取り込んだ PDF などは他のソースデータと同様に扱うため、文献レビューに活用できます。

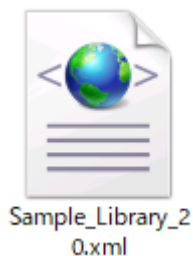
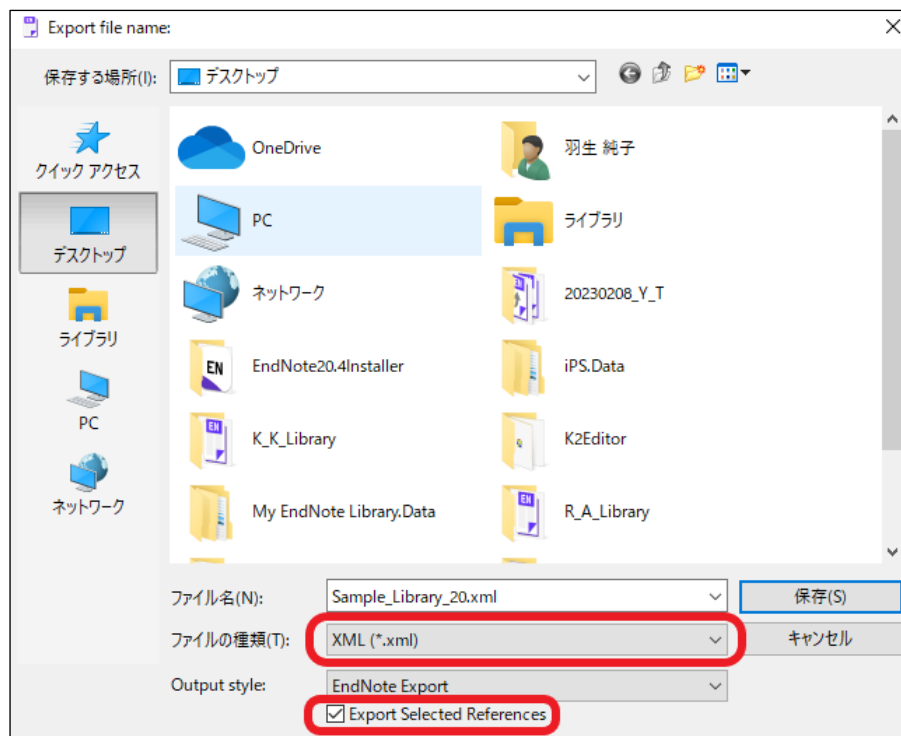
■ EndNote で行う操作

NVivo 14 に取り込みたい文献情報が保存されている EndNote ライブラリを起動し、出力したい文献を選択して [File] → [Export] をクリックします。

※ ライブラリ内すべての文献を出力したい場合は文献を選択する必要はありません。

*本章では EndNote 20 を使用しています。EndNote 20 は別途ご購入が必要です。

Step 9-2 データのインポート③ : EndNote 編



※ XML ファイルのアイコンは、既定のプログラムとして登録されているアプリケーションのアイコンになります。無地の場合もあります。そのため、アイコンの種類は特に気になさなくて結構です。

■EndNote で行う操作（続き）

出力ファイルを保存する画面が出現するので、わかりやすい保存場所・名前を設定し、
[ファイルの種類] を [XML (*.xml)] に変更します。

[Output style] は NVivo 14への出力に影響しないため、特に変更する必要はありません。

[Export Selected References] で出力対象の文献を変更できます。目的に応じて選択してください。

- チェックあり…事前に選択していたレコードのみ
- チェックなし…ライブラリ内全てのレコード

設定が完了したら [保存] をクリックすると、指定した場所にXML ファイルが作成されます。

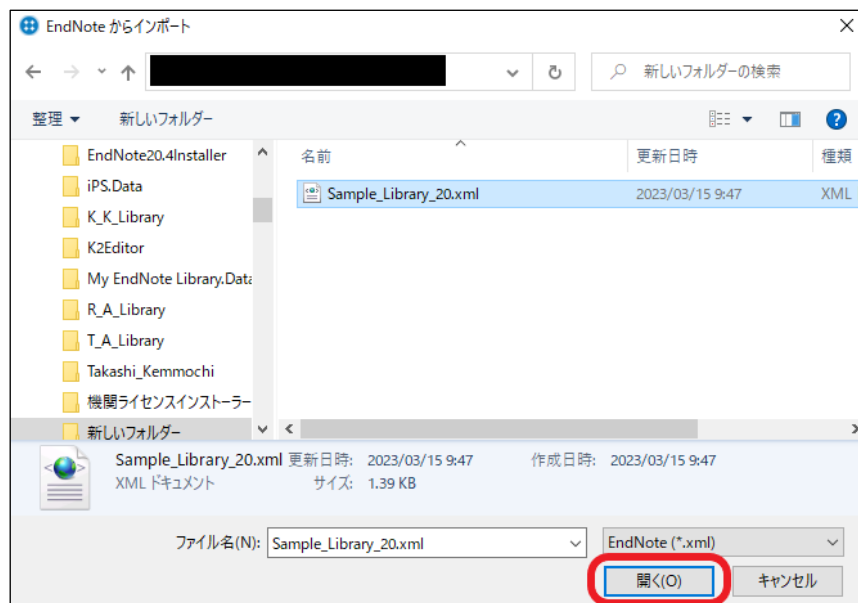
Step 9-3 データのインポート③ : EndNote 編



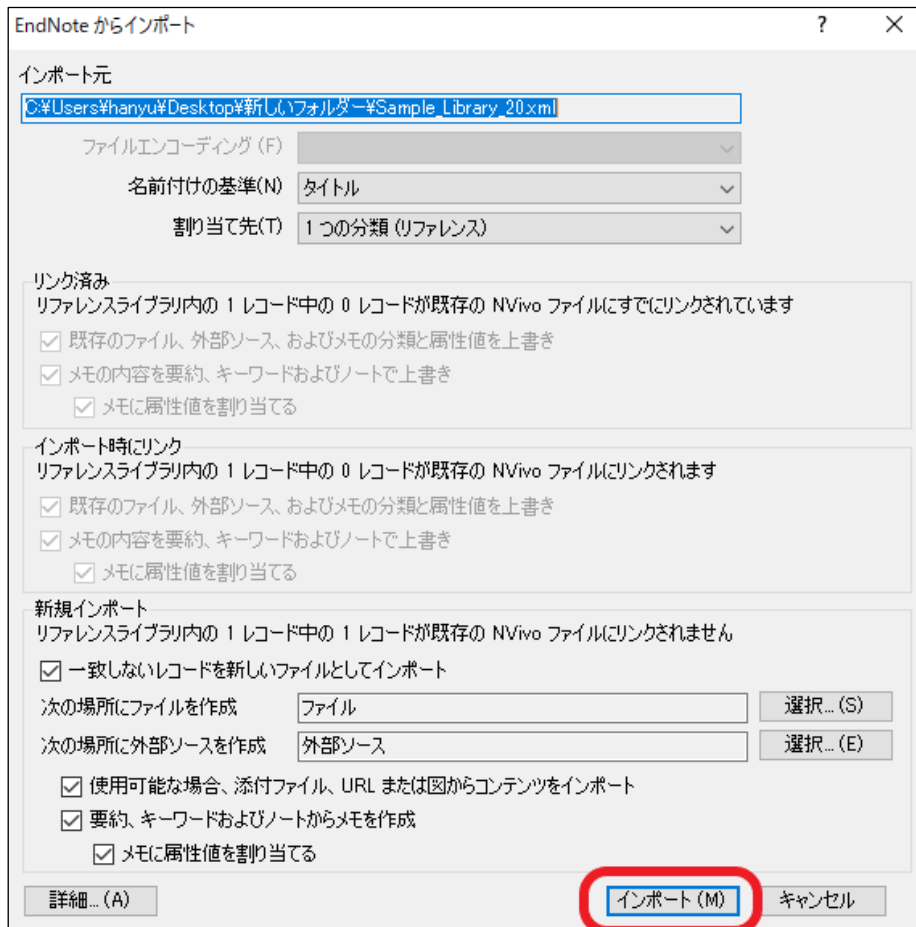
次に、NVivo 14 でデータを取り込みます。

NVivo 14 プロジェクトを起動し、
[インポート] メニューの
[文庫] → [EndNote] を選択

先ほど出力した XML ファイルを選択し、
[開く] をクリックします。



Step 9-4 データのインポート③ : EndNote 編



取り込んだデータを NVivo 14 でどのように扱うか詳細に設定できる画面が開きます。(設定は任意)

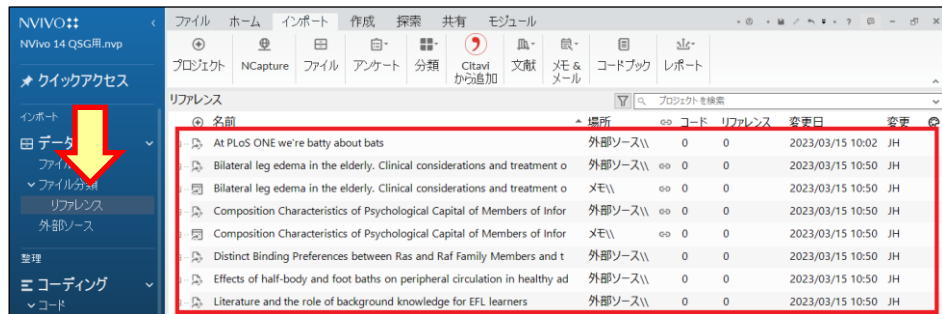
特に変更の必要がなければデフォルト設定のままでも問題ありません。

- [次の場所にファイルを作成] : EndNote 内で文献情報に文書ファイルまたは PDF ファイルが添付されていた場合、そのデータを取り込む場所を [選択] ボタンから指定できます。
- [次の場所に外部ソースを作成] : EndNote 内で文献情報のみだったデータを取り込む場所を [選択] から指定できます。

準備ができたなら [インポート] をクリックします。

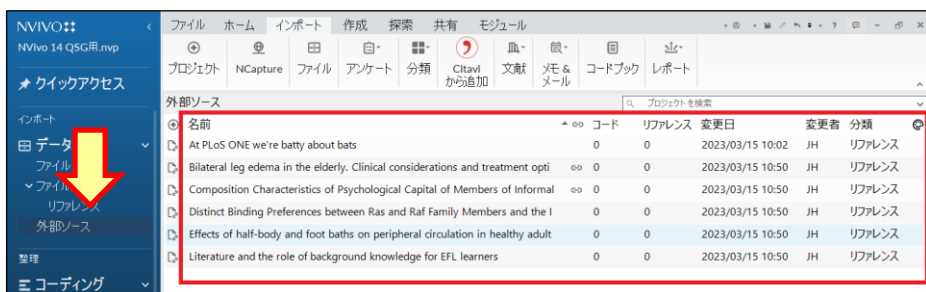
※ 以降の内容はこの設定を変更しなかったとして記載しています。

Step 9-5 データのインポート③ : EndNote 編



NVivo 14 に EndNote で保存していた文献データが取り込まれました。

EndNote で PDF または Word ファイルが添付されていたデータは [ファイル分類] 下の [リファレンス] に取り込まれ、添付されていないデータは文献情報の一部が [外部ソース] に取り込まれます。



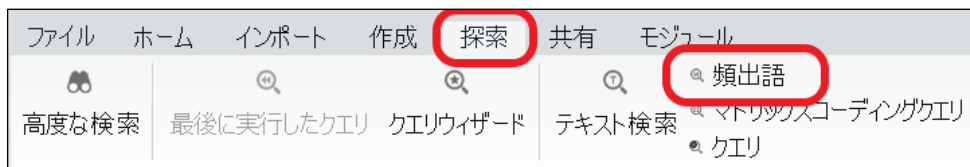
また、各ソースには補足説明などを入力できる「メモ」が自動的に付与されます。

「メモ」は各ソースデータを選択し、[ホーム] メニューの [アイテム] → [リンクされたメモを開く] を選択すると開くことができます。そこには EndNote に登録されていた [Abstract]、[Keywords]、[Notes] フィールドの内容が自動的に記載されています。

「メモ」に記載されている内容に対してもコーディングなどを行うことができます。

※ EndNote 上のレコードが上記の情報を一つも含んでいなかった場合、メモは自動的に付与されません。

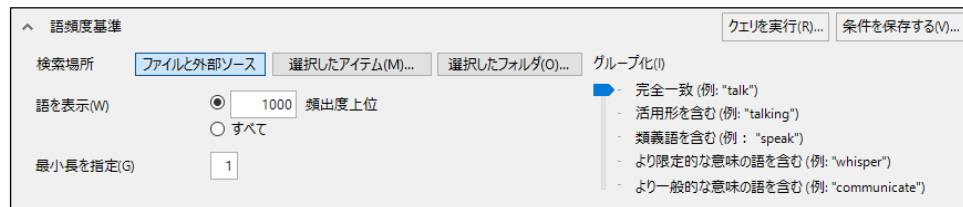
Step 10-1 データを分析する：頻出語クエリ編



NVivo 14 にはソースデータやコード内のデータなどを分析する機能が搭載されています。これらの分析機能を「クエリ」といいます。

こちらでは頻出語クエリを使用し、複数のデータで共通して取り上げられている単語（トピック）を探してみましょう。

[探索] メニューの [頻出語] をクリックすると頻出語クエリの設定画面が開きます。



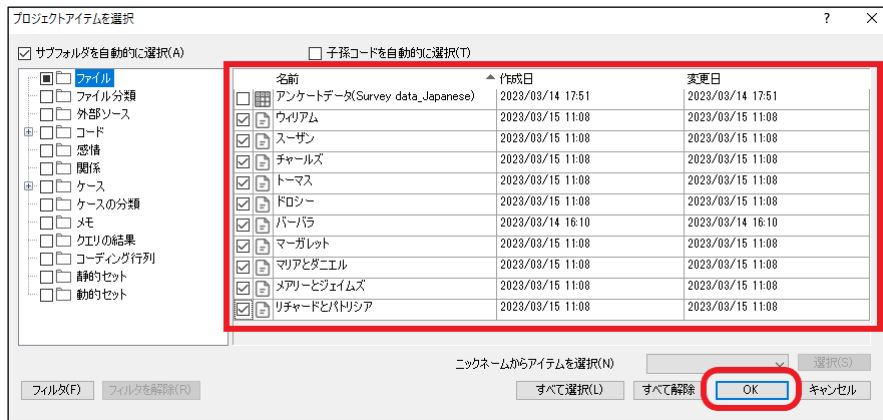
[検索場所]：分析の対象とするデータを選びます。

[語を表示]：分析結果として表示する単語の数を指定します。

[最小長を指定]：単語として認識されることばの最小文字数を指定します。

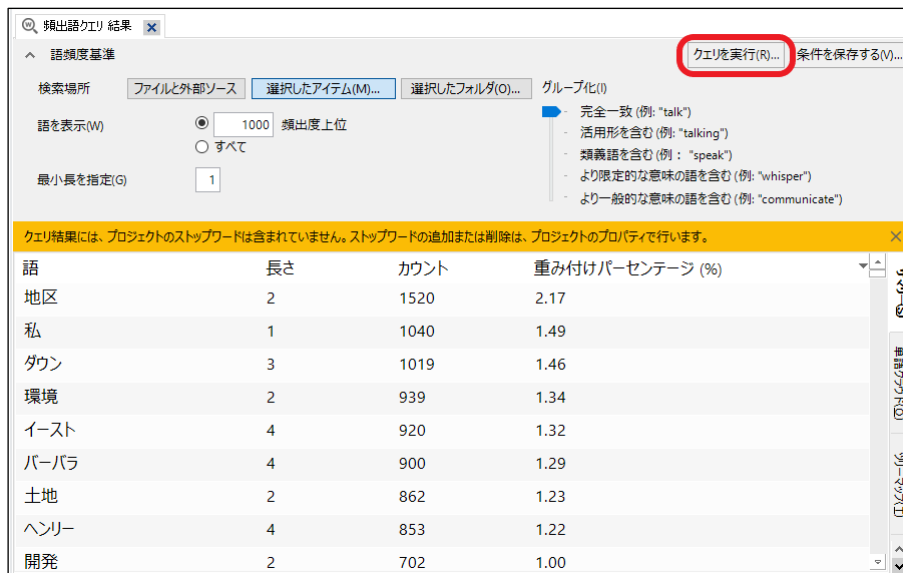
[グループ化]：単語の活用形など表現のゆらぎをどこまで同一単語とみなすか指定します。

Step 10-2 データを分析する：頻出語クエリ編



[検索場所] の [選択したアイテム] をクリックすると、どのソースデータを分析対象とするか指定することができます。

分析対象にしたいソースデータにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



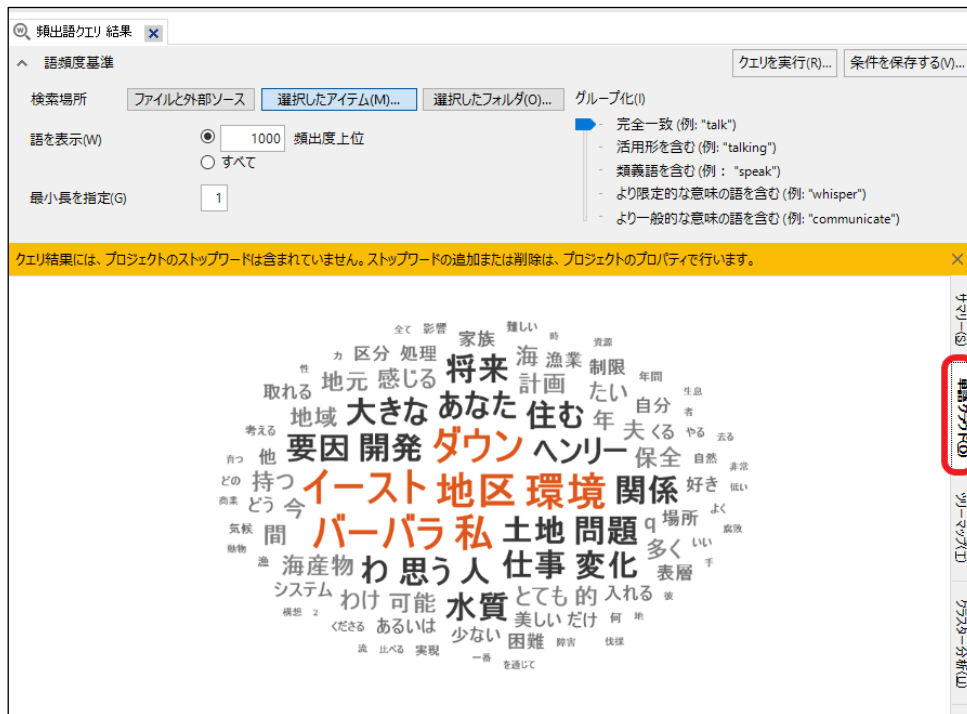
[クエリを実行] をクリックすると、分析結果が画面下部に表示されます。

※ もし結果に英数字しか表示されない場合は、

[プロジェクトプロパティ] の [テキスト内容の言語] の設定をご確認ください。

[ファイル] メニュー → [プロジェクトプロパティ] を選択し、出現した画面の [一般] タブ内の [テキスト内容の言語] を分析対象データ内で使用している言語に変更してください。

Step 10-3 データを分析する：頻出語クエリ編



頻出語クエリ 結果

語頻度基準

検索場所: ファイルと外部ソース | 選択したアイテム(M)... | 選択したフォルダ(O)... | グループ化(I)

語を表示(W): ☒ 1000 頻出度上位 | ☐ すべて

最小長を指定(G): 1

クエリを実行(R)... 条件を保存する(N)...

グループ化(I):

- ☒ 完全一致 (例: "talk")
- ☐ 活用形を含む (例: "talking")
- ☐ 類義語を含む (例: "speak")
- ☐ より限定的な意味の語を含む (例: "whisper")
- ☐ より一般的な意味の語を含む (例: "communicate")

クエリ結果には、プロジェクトのストップワードは含まれていません。ストップワードの追加または削除は、プロジェクトのプロパティで行います。

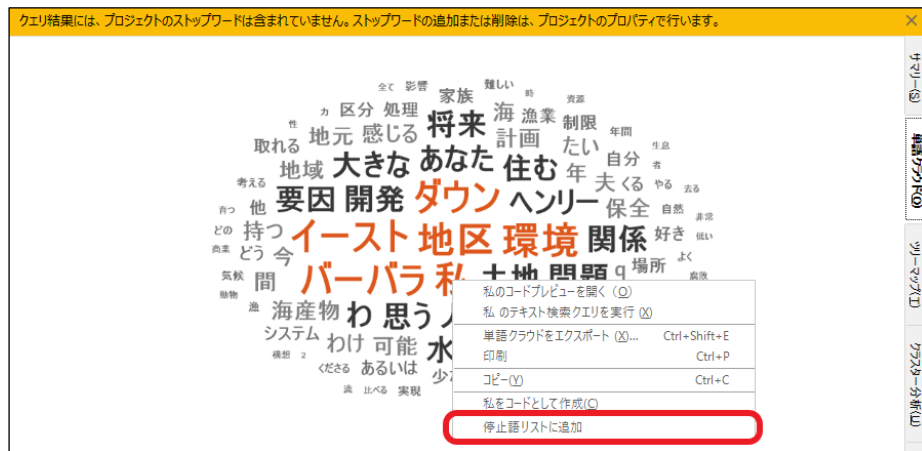
単語クラウドの

クエリ結果画面の右側にある [単語クラウド] タブをクリックすると、頻出語を視覚的に表示させることが可能です。

色付きで文字が大きく、中心に近いほど登場回数が多いことを意味します。

この図は、右クリックで [コピー] するとそのまま画像として他のアプリ (Word、PowerPoint 等) に貼り付け可能です。

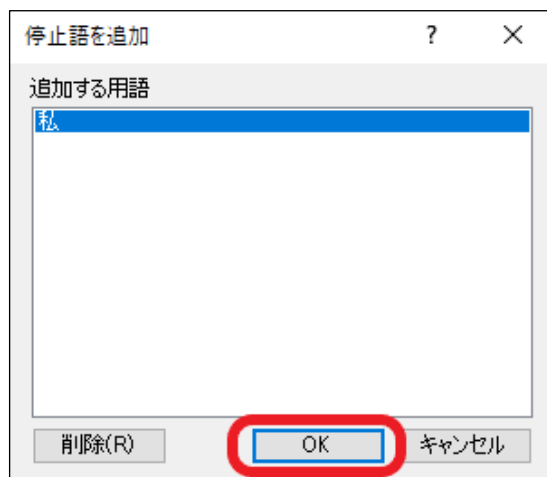
Step 10-4 データを分析する：頻出語クエリ編



クエリ結果の中に、分析には不要な単語が含まれている場合は結果から除外することが可能です。

サマリーや単語クラウド画面で不要な単語の上で右クリックし、[停止語リストに追加] をクリックします。

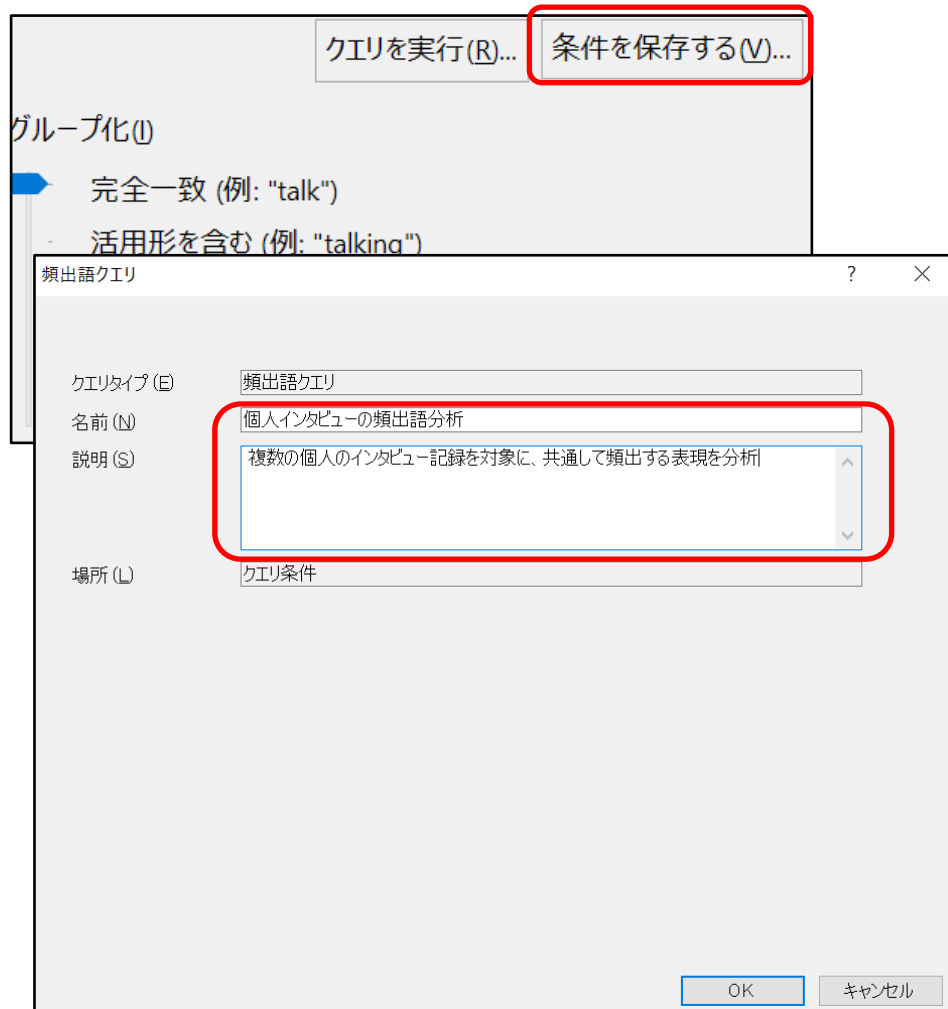
Stop Words (停止語) に追加する単語の確認画面が表示されるので、[OK] で確定します。



次回以降クエリを実行した際、ここで登録した単語は検索結果に反映されなくなります。

※ クエリ結果画面上からすぐ消えるわけではありません。
反映させるにはクエリを再実行する必要があります。

Step 10-5 データを分析する：頻出語クエリ編



クエリを実行 (R)... 条件を保存する (V)...

グループ化 (G)

完全一致 (例: "talk")

活用形を含む (例: "talking")

頻出語クエリ

クエリタイプ (E) 頻出語クエリ

名前 (N) 個人インタビューの頻出語分析

説明 (S) 複数の個人のインタビュー記録を対象に、共通して頻出する表現を分析

場所 (L) クエリ条件

OK キャンセル

同じ内容のクエリを複数回行う場合は、クエリの設定内容を保存しておくくと便利です。

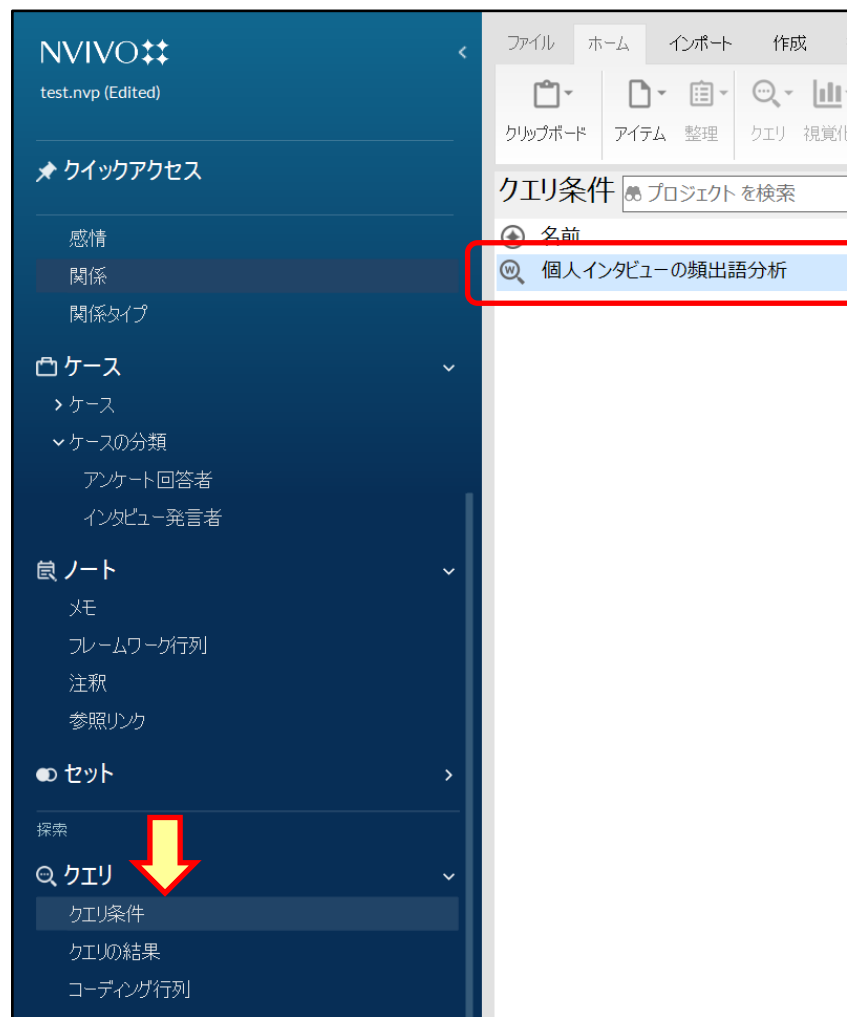
クエリの設定画面右上にある [Save Criteria] をクリックすると、保存画面が出現します。

[名前]：保存するクエリに名前を設定します。

[説明]：保存するクエリの説明（任意）を入力します。

入力が完了したら [OK] をクリックします。

Step 10-6 データを分析する：頻出語クエリ編



ナビゲーションビューの [クエリ] を開き、[クエリ条件] をクリックすると、保存したクエリが表示されます。

表示されているデータを右クリックして [クエリを開く] を選択すると、保存した状態のクエリ設定画面を表示できます。[クエリを実行] をクリックするとクエリを再実行できます。実行前に設定に変更を加えることも可能です。

※ 設定を変更したあと [クエリを実行] を行うと、開いたクエリデータに上書き保存されてしまいますのでご注意ください。

従来の設定も保存しておきたい場合は、[クエリを開く] を行う前に同クエリデータのコピーを取っておく必要があります。データの上で右クリック → [コピー]、空きスペースで右クリック → [貼り付け] で複製可能です。

◆ **NVivo チュートリアル**：最も基本となる操作を動画で解説

<https://help-nv.qsrinternational.com/14/win/Content/tutorials/tutorial-01-intro-import.htm>

◆ **NVivo ノート**：NVivo の使い方で困った時に参考にしたい日本語ブログ

<http://nvivonote.info/>

◆ **NVivo 無料オンラインセミナー**：弊社スタッフによる講義

<https://rs.usaco.co.jp/seminar/nvivo/>

お問い合わせ

ユサコ株式会社

ユサコ株式会社 NVivo サポート担当

メールでのお問い合わせ

[フォーム](#) より必要事項をご入力の上、お問い合わせをお願いいたします。

対応時間：9:00 ～ 17:30（土日祝 年末年始を除く）

※ **弊社よりNVivo 14 をご購入いただいた方を対象に**下記のサポートを提供いたします。

- ・ NVivo 14 のインストール方法に関するご案内
- ・ NVivo 14 のライセンスやアクティベーションに関するご案内
- ・ NVivo 14 を使用中にエラーが発生した場合、
または NVivo 14 の機能が正常に動作しない場合、問題解決に向けたご対応

※ 具体的な機能・操作方法に関するお問い合わせにはお答えいたしかねる場合があります。